

令和6年1月9日



くまのみずき

茅ヶ崎市立北陽中学校 学校だより

第11号

新年明けましておめでとうございます

新年明けましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願ひいたします。新しい年、令和6年を迎えました。中学校では1年間の総まとめの時期でもあります。これからの3ヶ月間は、1年間の学習のまとめを行うとともに、生徒一人一人が自ら課題を設定し考え、新しい目標をもち、その実現に向けて、努力していけるような教育活動に取り組んでまいります。

3年生は、2ヶ月後の3月12日(火)に卒業証書授与式を迎えます。大事な進路選択というみんなが乗り越えなければならない壁はありますが、中学校に通う日数は、もう残りわずかしかありません。残された中学校生活の日々を大切に過ごしてもらいたいと願っています。何事も締めくくり方が大切であり、中学校生活3年間をどう過ごしてきたのかが問われます。中学校生活の締めくくりがよければ、卒業後の4月からの進路先での生活もよいスタートが切れると思います。そして、この北陽中学校で義務教育の最後の3年間を過ごしたことに「誇りをもって」立派に巣立ってほしいと願っています。

保護者の皆様、地域の皆様には、本年も昨年同様、温かいご支援とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

最近、『持続可能』という言葉をよく聞くようになりました。「将来にわたって長く続けていけること、活動できること」という意味になります。今、地球温暖化や人権問題など、地球上で発生している様々な問題により、このままだと人類が暮らしていける世界は続けていけなくなると心配されています。そこで、世界中の国々が集まった国際連合で、この心配事が話し合われ、2015年に『SDGs』という目標が決まりました。2030年までに目標を達成させることになりました。目標の数は17あります。それぞれに具体的な目標を169設定しました。この17の目標ですが、どれも単独で解決することはできません。一つの目標を解決するためには、他の目標のことも考えなくてはなりません。この目標で言われている「誰一人取り残さない」というのは地球に住む全員が対象になっています。そう考えてしまうと、「安全な水とトイレを世界中に」や「飢餓をゼロに」、「働きがいや経済成長を」など、世界中のことを自分で解決させることは不可能のように感じたりします。「まずはできることから始めてみる」こう考えて取組を進めていきたいものです。北陽中生がこれからたくさんの夢や希望を実現させるためにも『SDGs』を意識しながら、できることから実行していくことが大切ですね。



校長面接

例年ですと、11月の中旬ごろから3年生対象に校長面接を行っていました。公立高校の入試の中に面接が含まれていたため、この時期から始めていました。今年度の公立校入試内容の中からは、特色検査を除き面接がありません。したがって、校長面接は2月の中旬頃から3年生全員を対象に実施する予定です。今後、3年生のみなさんは人生の節目節目に必ず面接を通過しなければならない時が必ずやってきます。そのような将来を見据えた面接の内容にしたいと考えております。一方で、3年生一人一人と身近に話せることをとても楽しみにしています。

